

2020年1月9日

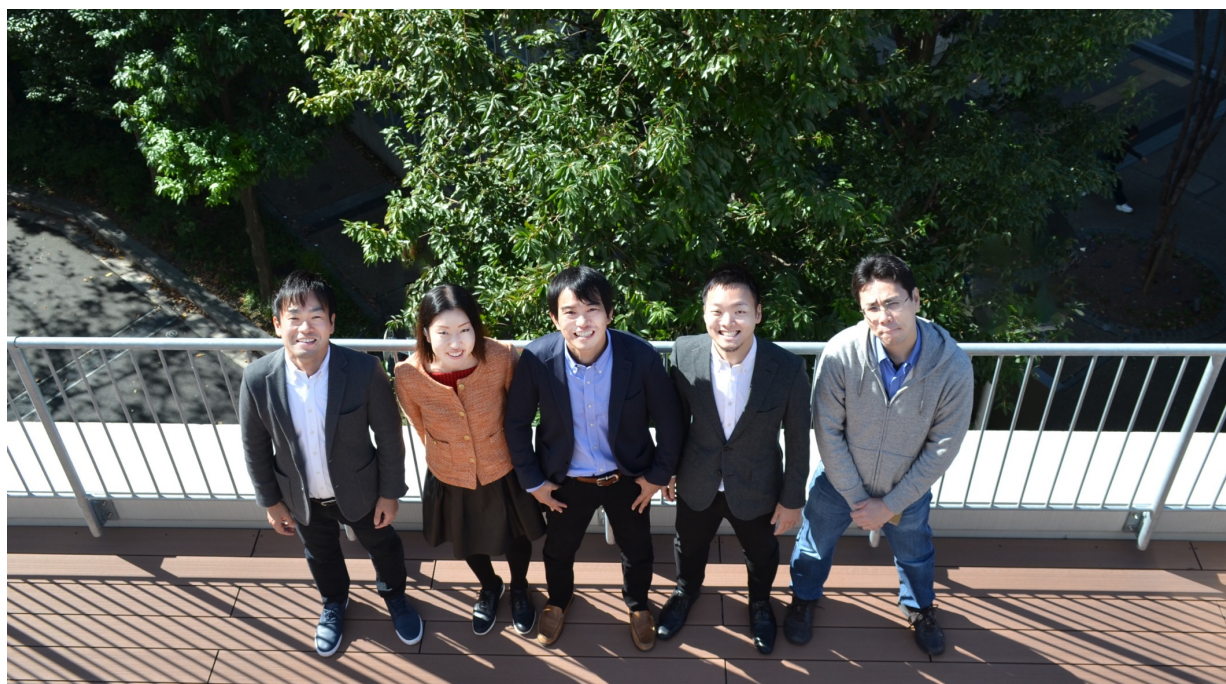
株式会社サムライインキュベート

アフリカで活動するスタートアップへの出資・成長支援を加速する

「Samurai Africa Fund 2号」を組成

株式会社サムライインキュベート（本社：東京都港区、代表取締役：榊原 健太郎、以下 当社）の子会社である株式会社サムライインキュベートアフリカ（本社：東京都港区、代表取締役社長：榊原 健太郎、以下 サムライアフリカ）は、アフリカ大陸のスタートアップへ出資・インキュベーションを目的とした

「Samurai Africa Fund 2号投資事業組合」（以下 アフリカ2号ファンド）を組成したことをお知らせいたします。



左から、当社 Senior Manager Fund Controller 久保浩成、同 Senior Manager 兼 サムライアフリカ Managing Partner 米山怜奈、同 代表取締役社長 榊原健太郎、当社 Manager 小池直、同 執行役員 Corporate Group 本間良広

当社では今後、新興国における雇用創出により豊かな国を増やすことを目指していく中で、前提を覆すような産業・サービスを生み出せる可能性が高く人口増加が予想されるアフリカ諸国は、注力して共に伴走したいエリアです。また、これまでも当社とサムライアフリカでは、アフリカ大陸で活動する創業期スタートアップへの出資・成長支援を進め、現在 18 社への出資・インキュベーション支援を行っています。この活動を推進し加速していくべく、アフリカ2号ファンドを組成することにいたしました。

アフリカ2号ファンドでは、ケニア、南アフリカ、ナイジェリアの3カ国をメインとするアフリカ諸国を投資対象国とします。投資領域には、金融・保険、物流、医療・ヘルスケア、小売・EC、エネルギー、農業、交通・モビリティ、エンターテインメントと設定し、スタートアップがこれまでの常識を覆すような方法で人々の生活を支えることを期待したい領域の事業に投資予定です。

なお、サムライアフリカは現在、独立行政法人国際協力機構（以下 JICA）からアフリカ地域における起業促進やスタートアップエコシステム形成に関する調査を受託しており、かかる調査に基づいて JICA に対してアフリカ起業家支援に関する提言をまとめる予定です。サムライアフリカはこの取り組みを通じて、JICA が展開するアフリカ各国での起業家支援を強化します。*

今後アフリカ2号ファンドは、ファンド総額 20 億円を目標に出資者の募集を行ってまいります。

■アフリカ2号ファンド概要

名称：Samurai Africa Fund2 号投資事業組合

投資対象国：ケニア共和国、南アフリカ共和国、ナイジェリア連邦共和国の3カ国を中心とする
アフリカ諸国

投資対象領域：金融・保険、物流、医療・ヘルスケア、小売・EC、エネルギー、農業、交通・モビリティ、
エンターテインメント

投資ラウンド：シード～シリーズ A

投資金額：500 万円～5,000 万円程度

今後も、当社とサムライアフリカは、「できるできないでなく、やるかやらないかで世界を変える」という企業理念のもと、シードステージのスタートアップから投資・インキュベーションをするベンチャーキャピタルとして、本気でイノベーションを起こそうとする起業家・企業家、組織、国と伴走し、イノベーションの推進をしてまいります。

以上

注釈：

JICA の当該調査の委託は、いかなる意味においても本ファンドの評価を示すものではなく、また、本ファンドの運営に対する JICA の支援、監督その他いかなる関与も意味するものではないことにご留意ください。

■サムライインキュベート会社概要

社名：株式会社サムライインキュベート

住所：東京都港区六本木 1-3-50

設立：2008 年 3 月 14 日

代表：創業者 代表取締役 共同経営パートナー 榊原 健太郎

URL：<https://www.samurai-incubate.asia/>

主な事業内容：プレシード～シード期の起業から投資・支援するベンチャーキャピタル、投資事業有限責任組合（ファンド）の管理・運営、大企業の事業創造支援・企業内イノベーション人材育成支援

■サムライアフリカ会社概要

社名：株式会社サムライインキュベートアフリカ

住所：東京都港区六本木 1-3-50

設立：2018年5月25日

代表：代表取締役社長 榊原 健太郎

URL：<https://www.samurai-incubate-africa.asia/>

主な事業内容：アフリカ大陸におけるプレシード～シード期の起業から投資・支援するベンチャーキャピタル